

公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま

2025 年度(令和 7 年度) 事業報告書



公益財団法人

みんなでつくる財団おかやま

OKAYAMA Share Foundation

2025 年度のみんつくは、設立から 14 期目（公益 12 期目）となり、『地域団体とのネットワークを広げる！「地域団体とのつながりを拡大し、助成機能を強化する。」』を事業方針に、「地域団体とのつながりの拡大と強化」「インフラとしての機能体制強化」、「新たな価値創造の取組（関係機関との連携）」という 3 本の柱を掲げ、取り組みをすすめました。

助成機能の強化として、毎年度末に県内の主な助成団体の採択結果がでることも踏まえ、他の助成事業で不採択になった団体もすぐに事業を再検討できるように、第 1 四半期に当該年度実施事業を対象とした助成事業の公募を行い、NPO 活動を推進する体制を強化しました。そして、県内の NPO 団体取材しその活動や地域課題を発信する「おかやま SA” NPO”」企画などに団体や地域の取り組みの発掘にも取り組みました。あわせて、組織体制強化のためにも、改めて寄付募集体制を見直し、3 月には当法人設立時以来のクラウドファンディング形式での公益事業の運営寄付「みんつく応援基金」の募集も行いました。

組織運営に関しては、岡山県立大学や就実大学から長期のインターンシップ生の受け入れや、高校生主体の実行委員会での 422 人マラソンリレー開催、事業指定助成プログラム採択団体（2 団体）の研修・サポート体制の強化など、団体や地域・人とのかわりを強化するように事業に取り組みました。

また、新たにスタッフを採用し、事務局体制を見直した他、四半期毎に経営状況の確認を行う経営委員会の開催や、業務の進捗確認を行う月次 MTG の開催など、組織体制強化に向けた体制づくりや運用ルールの整備を進めました。

2026 年度は、社会の出来事、気になったことに寄付という選択肢で関わり、その寄付のチカラを実感できるよう、2025 年度に取り組んだ体制強化をより発展させて、事業の推進と寄付者とのコミュニケーション強化に取り組みます。

2025 年度の主な取組（ニュース）

- 第 1 四半期（4～6 月）に当該年度の助成事業公募開始
- NPO 団体の情報発信企画「おかやま SA “NPO”」開始
- 事業指定助成プログラム【はじめの一步型】で 2 件の寄付募集実施
- 法人設立時以来の、クラウドファンディング形式での寄付募集実施（目標金額達成）
- 奉還町（岡山 TONKAN）で みんつくフォーラム開催
- 福祉人財育成基金で調査・ネットワーク強化の事業開始



■ 運営に関する事項

事業の進捗等の管理に代表理事、事務局＋理事で月次 MTG を実施しました。また、経営のチェック体制を強化するため、四半期ごとに寄付をはじめとした経営状況の確認を「経営委員会」を開催し実施しました。

運営体制としては、経営委員会（理事 4 名）、事務局長 1 名、事務スタッフ 3 名（パート）に加えて、ボランティアスタッフ、就実大学・岡山県立大学からのインターン生受け入れにより、組織運営を行いました。また、セミナー運営やイベント運営は、他の助成団体や NPO と連携して実施しました。

特に今年度は事務のフローなどを見直すとともに理事による事業の管理体制を明確にし、事業の質の担保と継続性の向上に取り組みました。

○評議員会 （総評議員数 5 名 R7. 6. 16 以降 4 名）

開催日	出席	決議事項
R7. 6. 16 (西大寺ふれあいセンター) ※オンライン	評議員 4 名	・ 2024 年度事業・決算・監査報告 ・ 2025 年度事業計画 ・ 評議員の選任（辞任）について

○理事会 （総理事数 8 名、監事 2 名）

回数	開催日	出席	決議事項
1	R7. 5. 25 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 7 名 監事 1 名	・ 2024 年度事業・決算報告 ・ 評議員の選任（退任）について ・ 2025 年度定期評議員会の開催について ・ みんつく応援株式基金 基金管理規程の改定について
2	R7. 9. 7 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 8 名 監事 1 名	・ 2025 年度冠基金・社会変革基金助成について ・ 2026 年度事業執行方針について（継続審議） ・ 遺贈寄付の取り扱いについて ・ 被災者援護協力団体の登録制度について ・ 支出に関する会計運用ルール〔内規〕について
3	R7. 11. 30 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 6 名 監事 2 名	・ 2025 年度第 3 期冠基金・社会変革基金助成について ・ 2025 年度冠基金・社会変革基金助成 ・ 2025 年度ろうきん寄付システムの助成 ・ 2026 年度事業計画について（継続審議） ・ クレジット決済による寄付の取り扱い

4	R8. 3. 1 (みんつく事務所@FLCB) ※オンライン	理事 8 名 監事 2 名	・ 2026 年度事業計画・予算について ・ 2026 年度執行体制について ・ 社会変革基金・冠基金の審査 ・ 福祉人財育成奨学金助成 ・ にこにこえがお奨学金助成 ・ ろうきん寄付システムの審査 ・ みんつく応援株式基金 基金管理規程の改定 ・ みんつく応援基金 寄付募集
---	--------------------------------------	------------------	---

○経営委員会

目 的 ： 定期的な経営状況の確認と対策の検討

構成員 ： 赤木代表理事、大山専務理事、石田理事、藤井理事、森田事務局長

内 容 ： 四半期毎の決算状況の確認

(変更等が必要な場合は、事業方針の見直しなどを理事会へ提案)

開催日時： 5月7日、8月22日、11月10日、2月9日



(事業運営の充実にかかる事項)

- ・経営委員会で経営状況の確認及び事業推進に必要な事項を検討し、必要に応じ理事会にはかる体制を整備したことで、社会状況の変化に対応し、公益活動に関する資源循環を促進しやすい環境を整えました。
- ・事業進捗状況の管理体制を強化するために、従来行われていた月次 MTG に加えて事務局での週次 MTG の体制を整備し実施しました。これにより、業務に必要なフローの見直しが行いやすくなりました。

■ 事業報告

○事業指定助成プログラム

～ 事業実施者と寄付者をつなぐ ～

2025年度は、2024年度同様、団体の寄付募集のはじめの一步を応援する「はじめの一步型」（割り勘で夢をかなえよう！）と、すでにある程度の活動実績と継続性が認められる団体の特定のプロジェクト組成を応援する「事業発展型」（未来の当たり前をつくろう！）の2種類で公募を行いました。

「はじめの一步型」は前期と後期で公募し、後期に4団体から申請があり、2団体の寄付募集を行いました（不採択：1団体、申請取り下げ：1団体）。

「事業発展型」については、他の民間クラウドファンディングサービスを紹介することで団体のニーズを満たすことが多く、当法人の事業指定助成としての、申請団体はありませんでした。

【次年度への課題】

申請前の事前相談をより丁寧に行うことで、申請事業や計画の精度向上や他助成の紹介（活用）などにつなげ、採択率の向上を目指します。また、団体支援の体制強化のため割り勘ワークブック指導者の養成も継続して実施します。

■ 実施の詳細については、下記の通り。

事業名 【団体名】	助成金額 ※()内は 助成目標額	寄付総額 ※()内は 助成目標額	達成率	のべ 寄付者 数
こども「まんなか」 みんなでつくる・育てる・続けるプロジェクト 【NPO法人 まんなか】	589,000 (880,000)	840,776 (1,100,000)	76.4%	149人
おかやま命つなぐ第一步！ 市民参加型 救命スキル普及チャレンジ 【一般社団法人 日本臨床リポート協会】	617,000 (520,000)	771,000 (650,000)	118.6%	88人

事業の様子



○「みんなの貯金箱をもとう！」

冠基金・社会変革基金事業

～ 寄付者の思いに寄り添った制度設計 ～

2025 年度は、冠基金 6 基金 7 テーマ、社会変革基金 2 基金 2 テーマについて募集し、うち 4 テーマにおいて 8 団体、1 名の合計 10 事業の助成を行いました。

2025 年度も、「みんなの活動応援」助成団体連絡会との連携や、県内の助成団体合同説明会への参加などを行いました。

団体・個人の新しい挑戦やはじめの一步を応援する仕組みとして、2024 年度に引き続き、「FUN LIFE 基金」と「BRIDGE SETOUCHI 基金」、「みんなつく子ども基金」を対象に四半期毎の公募を行いました。また、地域活動団体により活用してもらいやすい体制構築を目指し、その他の基金についても、助成事業の公募等が比較的希薄で、年度末に助成金や補助金の不採択通知を受けて活動資金に困る団体からの相談も増える 4～6 月に、当該年度実施事業を対象とした助成事業の公募を新たに開始しました。

また、2020 年度に設置した「みんなつく災害支援基金」は、2025 年度は対象となる災害対応がなかったため、引き続き災害に備えて寄付募集を行います。

その他、事務局をつとめる「ろうきん NP0 寄付システム」は 2 団体への分配を実施しました。

【次年度への課題】

2026 年度からは、社会の変化や団体の思いに合わせてより柔軟かつ即座に活用できるよう、団体のはじめの一步やスモールチャレンジの応援をテーマとした 4 基金（「くらしき」になる基金）「FUN LIFE 基金」「BRIDGE SETOUCHI 基金」「みんなつく子ども基金」については、助成事業の常時募集を予定しています。スピード感を持った運営ができるよう、運用の流れや役割などの明確化や、事前相談の強化などを行っていきます。

社会変革基金の 4 テーマ（地域助け合い・みんなつく子ども・にいま復興・みんなつく災害支援基金）については、寄付募集体制を強化し、日ごろから知ってもらいやすい仕組みづくりを進めるとともに、ももたろう基金については事業報告書のデータを HP で公開し、活動紹介やノウハウ移転につなげていきます。

また、申請自体がなかった基金をはじめ、ニーズの調査や関係団体との連携、新規団体の発掘などを通して、必要としている人へ情報を届けられるよう、情報発信を一層強化していきます。

【助成実施した基金】

テーマ	設置者	基金名	募集 時期	助成団体名	助成金額
まち ・ むら	匿名希望	FUN LIFE 基金	1 期	おにっこ太鼓	100,000
				そうじゃ！ 猫ざんまい	100,000
			3 期	任意団体 チームブラ旅	100,000
被災地支援 ・ 防災活動	萩原工業 株式会社	BRIDGE SETOUCHI 基金	2 期	福祉フェスティバル 実行委員会	40,000
				ぼうさい部（中高生 防災グループ）	98,500
			4 期		42,000
			3 期	NPO 法人 こもれば room	100,000
			4 期	NPO 法人輝くママ支 援ネットワークぱらママ	48,000
子ども 福祉	匿名希望	福祉人財育成基金 （益枝基金）	4 期	NPO 法人 こうのさと	150,000
子ども	NPO 法人 岡山未成年 後見支援セン ターえがお	にこにこえがお 基金	—	継続助成 1 名	1,164,000

【その他の助成事業】

テーマ	内容	助成団体数	助成総額
NPO 分野	ろうきん NPO 寄付システム	2 団体	100,000



○「みんなとやればできるはず！」地域円卓会議

2025 年度は、地域円卓会議の開催はありませんでした。

今後は、Share 会議から発展して円卓会議を開催するなど、まちの話題についてみんなで考える仕組みづくりを行います。

○情 報 発 信

より多くの方に情報が届けられるよう、参加者や開催内容等に応じて、オンラインと現地開催を併用しながら情報発信を行いました。

特に、助成事業の情報発信については、合同説明会や他団体の事業内での情報発信など、自団体のみならず県内の助成団体での発信力を強化していきました。

その他、中国・四国地方のコミュニティ財団を対象としたブロック会議を行い、近隣のコミュニティ財団の活動や状況などについて情報交換を行った他、依頼に応じて講師派遣等を実施しました。

また、今年度より、地域団体とのつながり強化と活動や地域課題の情報発信を目的に、各団体取材し記事を発信する「おかやま SA “NPO”」企画を開始しました。

【県内助成団体 合同説明会】

月	研修会・会議名	内容
9 月	助成団体合同説明会	合同説明会の実施@津山市役所 (主催:岡山県・岡山県ボランティア・NPO 活動支援センター(ゆうあいセンター))
10 月	助成団体合同説明会	合同説明会の実施@ゆうあいセンター (主催:岡山県・NPO 法人岡山 NPO センター)

【おかやま SA “NPO” 取材先】

取材月	取材先
4 月	NPO法人 こうのさと
5 月	NPO法人 みんなの集落研究所
6 月	川辺復興プロジェクト あるく
6 月	タマリ
9 月	NPO法人 そーる

○ノウハウ移転事業

2025 年度は、市民活動に関する包括協定をむすんでいる瀬戸内市の支援を行うとともに、他の公益法人への支援を中心に行いました。瀬戸内市の支援では2024 年度に引き続き、補助金の報告書類等の確認支援業務も行いました。また、DV被害者の自立支援を行うサンフラワー基金の運営支援や、全国各地のコミュニティ財団の設立・運営の助言を行いました。

(主なノウハウ移転事業一覧)

相手先	内容
瀬戸内市	「協働のまちづくり推進事業」 ・ 市民団体・学生支援、モデル事業支援 ・ 補助金運営支援 ・ 職員研修 「報告書類等確認支援事業」 ・ 市民団体・自治体の補助金活動報告書の確認支援
公益財団法人 サンフラワー基金	・ 公益法人運営について ・ 助成事業の設計について
コミュニティ財団関係	・ 伴走支援業務 [NPO 法人 bankup (とっとりコミュニティ財団設立準備会)] ・ 災害支援基金研修 登壇
認定 NPO 法人 ハーモニーネット未来	・ 中四国フードバンク活動ネットワーク構築支援
公益財団法人 福武教育文化振興財団	・ ハロー！ミュージアムプロジェクト 仕組み構築支援
公益財団法人 大原芸術財団	・ 大原美術館 入館券寄付プログラム構築 (モデル事業実施)



○セミナー

2025 年度の＋１セミナーは、参加しやすいように、現地またはオンラインを併用して開催しました。特に、助成事業の活用を進めるため、説明会の開催頻度を増やして実施しました。

(＋１セミナー) 開催：計画年４回程度 実施 13 回

月	内容	開催場所	参加人数
4 月	2025 年度第 1 期 助成事業 説明会	FLCB 1 階 + オンライン	11 名
5 月	2025 年度第 1 期 助成事業 説明会 & 申請書を書く会	FLCB 1 階 + オンライン	10 名
8 月	2025 年度第 2 期助成事業 説明会	オンライン	3 名
9 月	「被災者援護協力団体」登録制度 勉強会	オンライン	10 名
9 月	クラウドファンディング勉強会	オンライン	11 名
10 月	資金調達に関する事業整理ワークショップ ((公財)福武教育文化振興財団「and F 教室」登壇)	FLCB 1 階	9 名
11 月	2025 年度第 3 期助成事業 説明会	FLCB 1 階 + オンライン	配信のみ
11 月	割り勘事業研修会	S-スタ + オンライン	12 名
11 月	みんなつくフォーラムをつくろう	FLCB 1 階	5 名
12 月	2025 年度第 4 期助成事業 説明会	FLCB 1 階+ オンライン	配信のみ
1 月	2025 年度第 4 期助成事業 説明会 & 申請書を書く会	FLCB 1 階+ オンライン	3 名
2 月	ソーシャルライター基礎講座	旧旭竜幼稚園	3 名
3 月	お金と寄付の教室	FLCB 1 階	7 名



○Share 会議

2025 年度の Share 会議は、現地開催を基本に、発信者の希望に応じてオンラインとのハイブリッド形式で開催しました。

今後も、参加者や企画内容に応じて開催方法を工夫し、多くの人が利用しやすい機会提供を行っていきます。

(Share 会議) 開催：計画年 4 回程度 実施 4 回

月	内容	発表者	場所	参加人数
7 月	桃太郎の願い！笹ヶ瀬川の川ごみ問題を考えよう！	桃環プロジェクト 軽部 氏	オンライン	5 名
10 月	第 21 期割り勘 公開プレゼン・審査会	そうじゃ食堂 くうねるあ そぶ 森川 氏	FLCB1 階+オンライン	22 名
1 月	公益法人の経営(寄付・会員募集)について考えよう～アイバンク・臓器バンクのケース～	(公財)岡山県アイバンク・ 臓器バンク 古川 氏	幸町記念しげいクリ ニック	4 名
3 月	総社市内のバリアフリーマップをつくらう！	任意団体 チームブラ旅 河野 氏	FLCB 1 階	10 名



○調査・研究会等

岡山県から受託した地域力向上支援事業をきっかけに生まれた「みんなの活動応援」助成団体連絡会では、岡山県文化連盟の設立 20 周年企画をはじめ、各団体の事業や方針、地域課題などの情報共有や、今後の課題解決や価値創造を行うためどのように連携して取り組んでいくか等を話し合いました。

そのほか、コミュニティ財団の運営に関する情報共有・収集などを目的に、2022 年度からはじまった市民ファンド・コミュニティ財団関係者による勉強会（市民ファンド/コミュニティ財団の集い）等に参加しました。

【「みんなの活動応援」助成団体連絡会】

構成員 正会員： （公社）岡山県文化連盟
（公財）橋本財団
（公財）福武教育文化振興財団
（公財）みんなでつくる財団おかやま
準会員： （社福）岡山県共同募金会
（公財）マルセンスポーツ・文化振興財団

月	研修会・会議名	内容
4 月	コアメンバー(正会員)会議	岡山県文化連盟設立 20 周年企画について意見交換
6 月	コアメンバー(正会員)会議	2025 年度の活動について意見交換

【コミュニティ財団の運営について】（主催：NPO 法人市民社会創造ファンド）

月	研修会・会議名	内容
5 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	助成対象団体の交流・成果発信の「場」や「機会」づくり @オンライン
6 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	プレスリリースについて(助成事業の広報、寄付者募集など) @オンライン
7 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	タイムマネジメント・時間の使い方や配分について @オンライン
9 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	インタビューについて(目的・方法、内容、ポイント等) @オンライン
10 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	助成の出口・ゴールについて @オンライン
12 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	助成先とのコミュニケーション @オンライン
2 月	市民ファンド/コミュニティ財団の集い(勉強会)	利益相反の考え方について @オンライン



○寄付文化創造事業

毎月 29 日の「ツクル日」は、FLCB を活用して地域との交流のきっかけづくりを行いました。特にチャリティーイベントとその関連企画の開催によって、総社周辺の地域の方々に寄付を身近に感じていただく機会提供を行いました。

(ツクル日) 開催 : 29 日頃、実施 15 回

月	内容	開催場所	参加人数
4 月	みんつく事業報告会@玉島	玉島市民交流センター	7 名
5 月	みんつく募金箱めぐり	総社市内	2 名
6 月	BOSAI 探検隊(ブース出展)	FLCB 1 階	150 名程度
6 月	みんつく助成式&交流会	FLCB 1 階	9 名
7 月	みんつく ビアガーデン	岡山高島屋	9 名
8 月	100 年カレンダーを作ろう!	FLCB 1 階	10 名
9 月	みんつく 13 周年記念イベント	FLCB 1 階	31 名
10 月	どねーしょンドリンク ~エンドポリオ~	つなぐ倉敷	9 名
11 月	422人マラソンリレー	総社北公園陸上競技場	300 名程度
12 月	寄付月間祭り 2025	FLCB 1 階	150 名程度
12 月	みんつく望年会	ログイン倉敷	13 名
1 月	422人マラソンリレー交流会	FLCB 1 階	2 名
2 月	割り勘コラボ企画	旧旭竜幼稚園	20 名程度
2 月	Fun Life Café	FLCB 1 階	10 名程度
3 月	みんつくフォーラム 2026	岡山 TONKAN	49 名

【422人マラソンリレー】 \ スポーツ×チャリティー /

1人100m幅広い世代、延べ422人でバトンをつなぎ42.195kmマラソンの世界記録を目指すチャリティーイベントです。2022年の開催から4回目の実施となった今年は、高校生を中心とした実行委員会によって企画・運営を行いました。

リレー中には、NPO団体の活動紹介展示や寄付について考える企画等を実施し、地域団体の周知や寄付の呼びかけと発信を行いました。

- ・日 時： 2025年11月3日(月祝) 13:00～
- ・場 所： 総社市北公園陸上競技場 (〒719-1115 岡山県総社市福井1200)



【寄付月間祭り】 \ お祭り×チャリティー /

“まちの文化祭”として、縁日やNPO紹介・出店、チャリティーバザー、県大生の作品展示・販売などのチャリティーイベントを開催しました。2021年の開催から5回目の実施となりました。

イベント会場で使うお金は全て、地域のNPO団体等への寄付につながる仕組みとし、参加者自身に寄付先を選んでもらう仕組みとしました。

『欲しい未来へ、寄付を贈ろう。』を合言葉に、毎年12月に開催される全国的な寄付啓発キャンペーン「寄付月間」に合わせて開催しました。

- ・日 時： 2025年12月14日(日) 10:00～15:00
- ・場 所： FLCB (総社市中央2丁目2-8)





4 月 みんなつく事業報告会 @玉島



6 月 BOSAI 探検隊 ブース出展



6 月 みんなつく助成式&交流会



8 月 100 年カレンダーを作ろう！

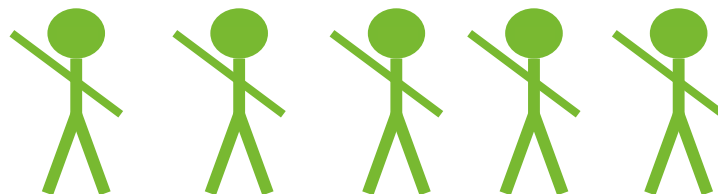


9 月 13 周年記念イベント



3 月 みんなつくフォーラム 2026

2025 年度も
ありがとうございました！



以上のとおりであるが、2025 年度事業報告は本文にて事業等が詳細に説明され、したがって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。